

平成27年度第4回草加市みんなでまちづくり会議

議 事 録

1 開催日時

平成28年1月27日（水）午後7時～午後9時15分

2 開催場所

草加市立中央公民館 第1・2講座室

3 出席者の氏名

(1) 登 録 員 20名

(2) 事 務 局 みんなでまちづくり課：山岡課長、藤倉課長補佐(兼)市民活動センター所長、巖上主任

井上主事、木村主事、吉田主事

市民活動センター：亀山主査、細野主事

(3) 草 加 市 総合政策課：岡田課長補佐

4 会議の議題

「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の内容

別紙議事録のとおり

8 議事録署名人

佐藤宣勝登録員、中島清治登録員

平成27年度第4回草加市みんなでまちづくり会議 議 事 録

【実施日時】 平成28年1月27日（水）午後7時～午後9時15分

【実施場所】 草加市立中央公民館 第1・2講座室

【出席者】 まちづくり登録員：20名、傍聴者：0名

事務局：みんなでまちづくり課 山岡課長、藤倉課長補佐(兼)市民活動センター所長、巖上主任

井上主事、木村主事、吉田主事

市民活動センター 亀山主査、細野主事

草加市：総合政策課 岡田課長補佐

1. 開 会

2. 議 事

＜議題＞「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

3. 閉 会

【議事内容】

－開会－ 【事務局】 (藤倉課長補佐) 【事務局】 (山岡課長)	本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成27年度第4回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきます、みんなでまちづくり課課長補佐の藤倉です。よろしくお願いします。 初めに、事務局のみんなでまちづくり課課長 山岡よりご挨拶申し上げます。 本日は、会議開催のご案内をさせていただきましたところ、ご多用の中お集まりいただき誠にありがとうございます。また、皆様の日頃からのまちづくり活動に対しまして、敬意とお礼を申し上げます。 本日、皆さまにお集まりいただいているこの「草加市みんなでまちづくり会議」は、「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」に基づき開催している会議です。この条例は市の条例の中で最も基本となるものとして、「だれもが幸せなまち」をつくるため、市政の基本となる原則や方針を定める形で制定されています。この条例の特徴は、市民の提案権や発言の場などを保障していることで、市民の皆さんが直接まちづくりに参加できることにあります。本日のような話し合いの中で、テーマについていろんな意見を出し合い、意見交換をした結果、よりよいものにまとまっていった、市に提案してみようということになれば、皆さんのまちづくり計画という形にさせていただいて市に提案することができます。提案が提出されると、市は市政へ反映できるかを検討し、検討した結果を再度みんなでまちづくり会議で登録員の皆さまに公表・説明する仕組みになっています。今まで、この会議に提出された提案は4件あります。 本日の会議は、前回から引き続き、3つに整理されたみんなでまちづくり会議の機能のうち「市民同士の話し合いの場」という位置付けで開催します。限られた時間ですが、青柳伊佐雄登録員の進行にご協力いただき、活発な意見交換がされますことを祈念申し上げます。
---	---

【事務局】 (藤倉課長補佐)	【配布資料確認】 ①会議の次第 ②資料「第3回みんなでまちづくり会議 意見の整理」 ③資料「草加市の公共施設～議論のための基礎資料」 ⑤資料「テーマ一覧」 ⑥資料「みんなでまちづくり会議の運用」 ⑦条文「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」 ⑧条文「草加市みんなでまちづくり自治基本条例に定めるまちづくりの参画手続きに関する規則」 ⑨リーフレット「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」 【会議録の署名について】 次に、会議開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人を2名決定します。本日は、佐藤宣勝様、中島清治様にお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。佐藤様、中島様、よろしくお願いします。
【議事録署名人】	はい。（議事録署名人了承）
【事務局】 (藤倉課長補佐)	本日の進行は、前回の会議の中で引き続きまちづくり登録員の青柳様にお願いすることになっておりますので、この後、青柳様の進行で進めてまいりたいと思います。
【進行】	今回の会議は、前回から引き続き「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」というテーマで意見交換を行います。建築から40年以上経っている草加市の公共施設がかなり老朽化しており、様々な課題を抱えています。それを解決するためには、利用する市民の利便性、安全性、コストなど総合的な観点から検討していくことが必要ではないでしょうか。そのために、この会議ではどのような方向で考えるのが望ましいのかを検討し、提言していきたいという趣旨をいただいています。 前回会議の内容は、資料「第3回みんなでまちづくり会議 意見の整理」でまとめています。前回出席した方は話を思い起こしていただく、初めて出席される方はこういう話があったのかということに目を留めていただくようお願いします。この中で特に大事なのは、「1. 議論の仕方について」です。この部分について私の方から確認をしたいと思います。 まず1つ目は、議論の方向性です。既存の施設だけをイメージするのではなくて、今市民が望んでいることは何なのか、どういったことが大切なのかという全体的なことについて議論を深めて、その上で個別の問題に入るべきではないか。要するに、草加市の公共施設全体を視野に置きながら議論をしていった方がいいのではないかというご意見がありました。 2つ目は、話し合った内容が果たして今の草加市の課題になっているのか。限られた予算の中でどこにお金をかけるべきなのかをもっと精査して、十分考えるべきであるということです。財政難、特に税収入がすごく限られているということは、皆さんも十分ご存知だと思います。そのような中、どのように考えていくことが必要なのかという問題提起です。 3つ目は、全体的な検討がないまま個別の問題を議論して、複合的な施設がいいといった意見をまとめていくのは、全体が見えていないので不安であるという意見です。木を見て森を

【草加市】 (総合政策課岡田 課長補佐)	見ずといったことになっていないか。相対的なことを常に頭の中に置きながら、まずは全体として何について話し合うかをしっかりと議論してから始めた方がいい。このような視点の中で、市民同士の話し合いとしての議論を行っていくべきではないかという意見です。市の全体的なことを考える上で、この会議の中だけでは不十分ということが前回ありました。本日は市の総合政策課に来ていただき、市の基本計画や全体的な計画について若干コメントをいただきながら、前回の会議から引き続き進めていきたいと思います。今回も少人数に分かれて議論した意見を全体で発表し合って深めていく形をとりたいと思います。総合政策課から草加市の公共施設について説明をいただいた後、各グループで意見交換を行っていただきます。その後、全体での発表・共有をしていただき、その上で、テーマ出題者から皆さんの意見を聞いた感想を話していただいて、その後、再度全体で議論しながらまとめていければと思います。では、最初に総合政策課からお願いします。 資料「草加市の公共施設～議論のための基礎資料」に沿って説明したいと思います。資料の1ページ「草加市の現状と将来推計①」には、人口推計のグラフが載っています。これは総人口を表すグラフで、現在（平成26年4月1日現在）は24万4千人だということが載っており、20年後は22万7千人、40年後は18万9千人といった状況が推計されております。これから人口が減少し、人口構成も変わってきます。 2ページ「草加市の現状と将来推計②」では、人口の構成を表すグラフを示しています。H26の実線は、現在の草加市の人口分布です。右側にある山がいわゆる団塊世代の山です。そして、左側の尖った山が団塊ジュニアの山ということが見てとれるのですが、草加市では団塊よりも団塊ジュニアの方が多という特徴があります。それが10年後、20年後と推移していくと、山がどんどん右に移っていくのですが、ここで1つ重要なキーワードが20年後のグラフです。15歳から64歳という年齢が生産年齢人口と言いまして、これは何を意味するかというと、働いて税金を納めていただく方々ということになります。これがH26、H36頃までは一定の塊として推移していくのですが、20年経つと団塊ジュニアの世代が徐々にリタイヤしていきます。30年、40年後になると完全にリタイヤして、今まで税を納めていただいた世代が今度は福祉や医療、年金で逆にお金がかかることとなります。ということは、この20年間に何とかしなければいけないというのが草加市の現状であることがこのグラフから見てとれます。 4ページ「草加市の現状と将来推計④」には、世帯のグラフが載っております。現在の草加市の世帯構成は、核家族と単身世帯がほぼ同じ位です。これもまた10年20年経つといわゆる核家族世帯がどんどん減ってきてまして、単身世帯が最も多い状況となっています。更に単身世帯の中でも4割近くが高年者世帯になります。ここから、行政のサービスや公共施設に求められるものがこの20年で世帯の推計に応じてどんどん変わってくるのではないかとということが見て取れます。 5ページは土地利用のことになります。草加市の市域は9割以上が市街化区域になっています。9割が市街化されているということは、この後、新たに市街地となる面積は非常に少ないということです。先程の人口の話にもつながるのですが、新しく宅地を造成して、人を呼び込んで人口を増やそうという余地はあまりないという状況がこのグラフから読み取れます。 6ページには防災・地球温暖化について書かれています。東京湾北部地震の発生が予測されておりますので、公共施設もそれに対応して耐震化が必要になります。また、最近特にゲリ
-------------------------------------	--

ラ豪雨が増えたり台風も大型化していることから、排水機場のポンプを増強したり、排水路を作り直したり、インフラについても今後一定のお金がかかります。今までの説明の中で数少ない明るい話題になるのですが、下段「行政コスト」のところでは、市の市債残高が徐々に減っていくことが見てとれます。

7ページのグラフは、市の歳入と歳出の推移を表しています。歳入のグラフの一番下のところに、自主財源という項目があります。これは過去を遡ってみても、ばらつきはありますが、だいたい横ばいで推移しています。自主財源というのは税金などの収入のことです。先程、人口の所でお話をさせてもらいましたが、今はある程度のまとまりがあるので、しばらくは一定の自主財源が見込まれ、今後もこの傾向はしばらく続くとして推計されております。ただし、歳出については、グラフの一番下に民生費の欄がありますが、20年で4倍以上となっております。民生費は子育てや福祉に関する費用です。日本全体で高齢化が進んでおり、草加市ではまだ若干人口が増えますが、国全体ではもう既に人口減少が始まっている状況の中で、高齢化に伴う福祉の費用や、子どもは減っておりますが待機児童が減らない状況も含めて、民生費はこれからもどんどん増えていきます。これにより最も影響を受けた費用は、土木費です。平成一桁の頃は下水道や道路などをどんどん作っており、草加市で一番お金を使っている時代がありました。今では福祉に最もお金がかかっており、自由に使えるお金が少なくなってきている状況です。

いよいよ8ページは公共施設の話です。ご存知のとおり、草加市の公共施設は古いです。30年以上経過している施設も多いです。9ページには、施設区分別床面積比率が書かれております。草加市の公共施設の割合は6割が学校、その他医療や市民文化・スポーツといった分布です。他の市と比べてどうなのかについては下のグラフに書いてあります。25万人以上の平均の線が引いてあり、草加市はそれよりも下に位置します。一人あたりの延床面積で比較しますと、越谷市や吉川市とは同じような位置にありますが、全体から見ると少な目であると同時に老朽化も進んでいるということになります。

最後のページには、現在の公共施設の床面積をすべて維持した場合、年平均44億円かかることが試算されておりますが、現状としてそれだけの費用がまかなえてない状況です。この後もその状況が続くのではないかとということが見て取れます。

以前、皆さんからご意見をいただいた第4次草加市総合振興計画が出来上がってまいりました。第1期の基本計画として、皆さんにお配りしました資料に書いてある3つの重点テーマが掲げられています。これは、20年のうちにやらなければいけないことをまとめた中で、草加市が快適都市を目指すための3つの重点テーマです。公共施設は持続可能性の向上に当てはまり、歳出の抑制などが必要です。今後は、公共施設を維持管理する費用を抑制しなければいけないということが一般的には当てはまります。しかし、草加市としては、公共施設については、大きなまちづくりの中で検討していきたいと考えており、「お金がないから減らしましょう」ではなく費用の抑制は手段の一つです。今、それについて方針を示した「公共施設等総合管理計画」の策定を内部で進めております。内容がまだ出来上がっていないので、残念ながら本日はお示しできませんが、大きなまちづくりとして、ブランド力の向上やコミュニティ力の向上といった視点でも本日は皆さんにお知恵をいただきたいと思います。

20年後を見た場合、どういった施設の機能が必要になるか。また、今ある施設を複合化するとしたら、どのような機能とならうまいかなど、ハードだけではなく運営のアイデアのようなソフト面についても皆さんのお知恵をいただければと考えております。もちろ

【進行】	ん、前回の会議で言い残したことがあったら言っていただいても結構ですし、自由な会議の場ということで本日はお集まりいただいておりますので、草加市全体の公共施設について議論できればと思っております。 話を聞いていると何となく憂鬱になるというか、決して明るくない印象を受けがちですが、みんなでまちづくり会議ではもう少し夢と知恵を持たせて、このような課題をどうすれば克服できるのかを市に提言していくことが、市民の役割、市民の力だと思います。市としては、統計的にこういった予測になると思いますが、あまりそこにはしばられず、自由な発想の中で議論をお願いしたいと思います。まずは市の公共施設の在り方、どのような施設が必要なのかについてです。前回会議の内容を踏まえながら、文化会館と体育館、そして市内の公共施設がどのようにあるべきなのかについてグループの中で議論をお願いします。 《グループごとの議論》
【進行】	時間になりましたので、各グループの議論は一区切りさせていただいて、グループごとの発表をお願いしたいと思います。では、Bグループからお願いします。
【登録員A】	皆さんの意見を全部言うのはなかなか難しいです。やはり市民運動ということに関わってきているから、皆さんいろんな立場もあるだろうし、意見をお持ちだろうと思います。だから、意見を言いにくかったところも少しあったと思います。 最初に、大規模な複合施設一か所に集めるという施設の作り方に対して意見が出ました。いくつか出た意見として、例えば複合施設について言えば、学校を子どもだけの施設ではなく、いろんな人が使える複合的な施設にしたら教育にも役に立っし、身近な施設なので利用するのではないかという意見が出ました。それから、寒い中、屋外で将棋をして遊んでいる人たちがいるので、そういった人たちが利用できる身近な施設があれば助かるという意見も出ました。議論の中心は収益性のある施設ということでした。例えば音楽ホールを大きくしすぎて利用しきれないというのではなくて、身近なところにあってみんなが使えて収益のあるような施設をイメージしました。今、施設は身近な場所にシフトすることが求められていると思います。だから、大規模な施設を1か所つくるのではなく、身近なところにあって快適に利用できる施設をつくるという方向が今の草加市に求められていると思います。
【進行】	ありがとうございます。身近なところにあって快適に利用できる施設をつくっていきましょうということです。次はDグループをお願いします。
【登録員B】	実際に街で活動している方がいて、今の問題点から入っていきました。まずは大きなテーマと小さなテーマで話し合うことになりました。小さなテーマに関しては、これから少子高齢化或いは家族構成が変わってくるので、身近なところにワンストップサービスができるような、例えばコンビニで介護相談ができればいいという意見がでました。大きなテーマに関しては、市役所と文化会館に関するのですが、市役所をもう少し大きな発想で、上を住居区間、下を役所という豊島区をモデルにしたようなものを考えていったらいいのではないかという意見が出ました。しかし一方では、もっと小さくてもいいのではないかという意見が

	でした。これからの人口問題や様々なことを考えた時に、何も大きいものだけではなく、小さくしていくことを考えてもいいのではないかという意見がでました。それから文化会館に関しては、音楽ホールはあまりにもお粗末ですし、弱者に弱い建物なので、早急に建て替え或いは修繕を考えてもらうといいのではないかという意見がでました。実際に今活動している方のご意見ですが、何かを作ろうとする時に、必ず反対意見が出て来てうまくいかないということでした。それは何かというと、地権者などの問題があつて、そのことが大きく根強くて、何かお話しをするにしてもそこがネックになっているという話が出て来ました。そこにあまり執着せず、未来を考えていくということで、もっと子ども達の意見を聞いたらいいのではないか。それからブランド力です。草加らしい文化を発信できることを考えていくということで、発想の転換が必要だという意見が出ました。
【進行】	ありがとうございます。では、Aグループお願いします。
【登録員C】	いろいろなところに皆さんお住まいなので、自分の住んでいるところに施設が欲しいという話し合いがなされました。そして、障がいを持っている人たちに、もっとたくさんまちづくりに参加していただいて、その意見を汲んで施設をつくって欲しいということでした。それから、もう少し使い勝手のいい施設が欲しいし、大きな施設も大変うれしそうなのですが、やはり地域でみんなが集える場所が欲しいということでまとまりました。
【進行】	ありがとうございます。身近なところで使える施設、それから、障がいがあっても安心して使える施設ということです。それではCグループお願いします。
【登録員D】	他のグループの意見を聞いていると、住んでいる隅々の人たちが利用しやすいようなというお話がありました。それは当たり前です。今も東西南北にいろんな施設がありますが、使いやすくすればいいことです。担当も市民も望んでいる活動ができるようなもの、もっといい夢をみんなでつくってこうということを考えています。にぎわい交流エリアについて焦点を定めて、ブランド力の向上、コミュニティ力の向上に焦点を絞って話し合ってくださいということでしたので、私たちは前回の会議をふまえながらお話をさせていただきました。 皆さんから出た意見の内容を紹介させていただくと、やはり民間活力を取り入れた総合施設をつくっていったらどうか。それにより、重点目標であるブランド力の向上やコミュニティ力の向上が達成できるのではないかな。そして、大人も子どももお年寄りも高校生も小中学生もみんなが集えるような複合施設をつくったらどうかということです。そして、大きな複合施設をつくる時に、商工会議所や物産館、歴史文化館などをイメージして、民間の活力を取り入れていくといいと思います。タワーの最上階に一流ホテルやレストランに入ってもら。会議室、展示室、スポーツ施設、スーパー、フリースペースといった、みんなが集えるような施設をみんなで知恵を出していったらどうでしょうか。やはり、一番の問題は資金力です。草加には資金がない、高年者が増えるといった状況です。これからの施設を考えた時に、民間の活力を取り入れて、行政だけに任せられないと思います。民間活力を入れながらタワーをつくっていく。そして、音楽施設をつくっていく。みんなで知恵を出さなければできないだろうということを話し合いました。市民ファンド、市民が集め企画して行政と協力していく体制をとっていく必要があると思います。他に細かい意見ですと、大きな音楽堂や

	複合施設のタワーを作る時に、60億円かかるのだろうか、100億円かかるのだろうかということがこれから問題になってきますが、費用の負担を役所任せにすることはまず無理だということをみんな分かっています。そのことについて、これから知恵を出していく必要があります。みんなが集えて夢が持てるような施設、にぎわい交流エリアをみんなで知恵を出して作っていきましょうということが意見として多く出ました。
【進行】	ありがとうございます。大変具体的で、夢のあるご意見だったと思います。以前は、市との関わりの中では税金だけでどうしようかという議論になりがちでした。確かに税金は基本ですが、それだけにとらわれず、もっと自由な発想の中でどうすればできるかということにつながっていくと思います。各グループの意見を聞いて、意見や感想があれば少しお聞きしたいと思います。
【登録員E】	最後の方からのご意見についてですが、民間の活力を使うというのは、どういう根拠からなのか私は理解できません。基本的に法人税は、企業のうちだいたい70%は払っていません。チェーン店だと法人税がかからないところもあるので、そういう場所で決算したり、本部で決算すると草加に税収が入るわけではないし、金融資産の運用の受益に関しては税金がかからないものもあります。大規模なことを含めて夢がどうのこうのと言うよりも、今、マンションがたくさん建っていて、新しい人たちにとっては自分たちが働いている場所がメインなので、もっと他のことを草加に望んでいるのではないかという気がします。市役所は絶対に早く建替えてもらいたいと思いますが、文化会館の施設に関しては、もう少し話し合いが必要だと思います。
【進行】	ありがとうございます。それでは、テーマ出題者から感想をお願いしたいと思います。
【登録員F】	公共的施設についてというテーマで、例として文化会館や中央公民館を出しました。草加市の文化会館は建築してから44年経っています。いつかは建て替えが必要になりますが、その時に、どのような方法で建て替えたらいいか、どのような施設と複合化したらいいか、またその建てるためのプロセス、要は資金の問題をどうしたらいいかということについて、皆さんからご意見をいただきたいということが中心で始まりました。草加市全体はもちろんコミュニティが必要ですし、皆さんが集える場所、障がいがある方も集まりやすい場所が各地区に必要なということは全くそのとおりで、私は賛成です。貴重な意見を各グループからいただきました。学校を使うという話は我々のテーブルでもありましたし、一方では、現在学校は空き教室があまりない状態だという話も聞きました。他には、豊島区役所のよう、に、上層をマンションにしたらどうかという意見がありましたが、それも民間活力の導入です。マンションとして分譲すればお金が入る訳ですから、それを建設費に充てることができます。先程意見がありましたが、何も税金を集めようという意味で民間活力ではないのです。施設の一部を買ってもらい、権利を買ってもらってお金を集めるという意味ですから、税収がそれによって上がるという発想とは少し違います。それから、Cグループでは文化会館を建て替えるにはどうしたらいいかということが中心でした。これからの時代、やはり大事なものは子どもです。特に小・中・高校生が集まれるような、みんなで集える場所。高年者の方にも必要な場所だし、障がいのある方も入りやすいような場所をつくろうという話が出

	ました。草加松原は国の名勝に指定されて一番のシンボルになっている場所ですから、やはり草加市民が来て楽しめる、市外から来た人にも草加松原に来ていただき、そこで草加の歴史と文化に触れてもらって、草加っていいところだねと感じていただけるような施設に建て替えたいという意見をいただきました。実際には、2020年の東京オリンピックまでに間に合うかと言ったら、私はそんなことは考えていません。10年・20年後かもしれません。私が生きている時にできないかもしれません。でも、何らかのアクションを起こして働きかけをしないと、絶対に進まないと思っています。 それから、民間活力の導入についてですが、私は川口リリアをきっかけとして今回のことを考えました。川口駅のすぐそばにある施設で、建ってからもう20数年が経っています。バブルの時期に建てられたので例外かもしれませんが、15階建てで最上階にはレストランが入っています。また、会議室がたくさんあり、民間の施設もたくさん入っています。市の施設と民間の施設が複合化しています。それから、川口にはキューポラという施設があります。そこも行政と民間が複合化した施設です。草加にもアコスがあります。アコスは東口の再開発でつくられ、行政も入っているし、また民間の地権者も入っています。第三セクターの株式会社アコスが管理しており、行政と民間が協力して管理している1つの例です。形は違うかもしれませんが、そういった手法を文化会館の建て替えに活かせないか。そういったことができるのであれば、草加市内のコミュニティ施設をつくる上で同じ手法でできるのではないかと。先程、コンビニエンスストアで介護の相談ができないかという話がありましたが、民間と行政が一緒にできるようになれば、民間の力を使って、そんなに税金を使わずにできると思います。そういう夢がある訳です。1つの例として文化会館を取り上げておりますが、草加市全体がよくなるのが一番だと思っておりますので、何も文化会館をすぐにやれと言っているのではないということだけお伝えしたいと思います。
【進行】	ありがとうございます。では、これから全体の議論に入りたいと思います。
【登録員A】	私の感想ですが、それは夢とかそういうものではないと思います。民間活力については様々なところで言われますが、それは成功しているのでしょうか。民間活力と言っても営利の企業だから、やはりその企業が無償で協力することはないと思います。私たちがここで相談しなければいけないのは、施設のために行政が税金をどのように使っていくかということだと思います。私は清門町に住んでいるのですが、新田西文化センターという立派な施設があります。私はお神楽をやっている、その施設を使わせてもらって毎週お神楽をやっているのですが、防音設備がないので太鼓を叩いてはいけませんと言われます。2回苦情が出たらあなたの団体は使えませんかと言われます。そうになってしまうとその部屋は使えないので、迷惑のかからない部屋でやることになります。大きな施設に行けばできるかもしれませんがそれは理屈です。私たちは動けなくなっても身近なところでみんなで楽しみたいと思っています。だから、私は複合的な大規模な施設をつくるのではなくて、そういうお金があるのなら、誰もが身近なところで楽しめるような施設にお金をかけて欲しいという気持ちがあります。大規模な施設をつくるのが絶対にダメということを言っているのではなくて、文化会館が老朽化して建て替えなければいけないということならば、みんなが楽しみにして使っているのだから建て替えるべきだと思います。市役所だって地震が来たらつぶれるようでは困る訳で、建て替えてもらわなければいけないのですが、特別立派なものを作る必要はないと

	思います。その施設があつてよかったねとみんなが言えるようなものをつくってあげたいと思います。私は、越谷で竜巻があつた時に、1週間ボランティアをしました。私は、夜眠れないことはありませんかなどと聞きながら、100軒の家庭訪問をしました。その時街の人は、ここにこういう施設があつて、避難できてよかったと言っていました。街のつながりで町会の人たちが助けてくれたので、私たちは安心していられると言っていました。そういう施設や人間関係をつくるのが大事で、たくさんお金をかけて民間活力などというのは私の考えではないと思います。
【進行】	ありがとうございます。市民同士の話し合いなので、賛成反対はどちらでも構いませんし、別の意見や感想でも構いませんのでいかがでしょうか。
【登録員E】	先程意見があつた、先に権利を売ってしまうという形についてです。それを資金にして建物を建てるということですが、やはり民間は利益を追求していくわけですから、価値が下がってしまえば、それを転売して出ていくのは早いと思います。大手ほど退出するのが早いと思います。そうすると、その権利の価格はどんどん下がっていきます。手放す時に購入時よりも価値が下がってしまうと、不幸な街になってしまう気がします。いずれにしろ、文化会館や体育館、社会福祉協議会はまとめて何らかの形で考えないといけないと思いますが、市役所と絡んで、逆に市役所を文化会館のエリアに移してしまうということもあると思います。とりあえず、喫緊の課題としては、歩いて行ける範囲のところに集合場所があるといいと思います。まずは既存の施設に障がい者用のトイレやスロープ・エレベーターを設置すると、あまり予算がかからずいいと思います。 (※草加市新庁舎は、草加市庁舎建設等検討委員会等の検討により、現在の場所に建設することが決定済です。)
【進行】	ありがとうございます。身近なところでできることから手をつけていくべきではないかというご意見です。
【登録員F】	今、話を伺っていて、スロープをつければいいのか、トイレを改修すればいいのか、確かにそうです。それで使いやすくなればいいのですが、実際にできないのです。できないから建て替えるしかないという話になります。文化会館のエアコンはだいぶ古くなっていて、そのうち壊れてしまいます。それから、今度、ホールの音響をなおすらしいのですが、1回やると数千万とか億単位でお金がかかります。そういったものをなおしながらやっていって、我々の大切な税金をそういうことに使っているのかという問題が1つあります。なおすことができればいいのですが、それはなかなか難しいです。そして、いつかは建て替えが必要になると先程お話ししたのですが、その建て替え自体が必要ないというお話しなのか、それとも建て替え自体は賛成ですが、税金で全部建てて民間活力を使うことが反対なのか、どちらなのかがあまりうまくつかめません。
【進行】	先程、全体的なことでの感想がみなさんから出て来なかったもので、残りの時間は文化会館の課題に絞りたいと思います。建て替えに対する意見なのか、それとも民間活力ということに対しての意見なのかということです。

【登録員A】	実際に今、文化会館がどういう状況なのかということについては、公的な立場から何も話が出ていません。それで、古くなったから建て替えだと言われても困ります。本当に危険だったら建て替えが必要だし、そのことについては誰も何も言ってないと思います。それで、民間の活力を導入するということについても、それがどういうものかというのが全然分かりません。だから、そういうことを前提にやる場合は、民間活力を導入するというのはどういうものなのかということを行わなければダメだと思います。知識がないところでそれをやれば夢があるとか、それをやればいいことがあると言われても、いい場合ばかりではないというのは世間的にたくさん聞いているので、簡単には右左は言えないと思います。
【進行】	今、文化会館が抱えている課題について、市から情報提供がないという意見がありました。これで市に話を振ってしまったら形ばかりになってしまうので、実際に使っている方はどのように感じているのか、皆さんから率直な意見或いは感想をお話いただければと思います。何もなければやはりなかったということになりますが、いかがでしょうか。
【登録員G】	もともと文化会館は県の建物で、隣は結婚式場でしたよね。その辺の経緯を考えると、もともと無理があると思います。
【進行】	どういった意味で無理があるということですか。
【登録員G】	具体的に言うと、結婚式場だから、お嫁さんが合わないようにぐるぐる回る構造になっています。
【進行】	要するに、建物としての使い勝手が悪いということですね。他にはどうでしょうか。
【登録員H】	私は初めて参加したのですが、議論を聞いていて、グループごとにずいぶん前提が違うと思いました。向こうのグループはだいたい草加のことを考えていますが、こちらのグループは全然考えていません。だから、お金のことは考えないでいいというお話しでした。前提が随分違うので、議論にならないなというのが私の感想です。だから、議論をする時にはやはり前提をきちんと話していただかないと議論できないと思います。
【登録員I】	私は20年前に草加に引っ越して来ました。文化会館に入ってみて思ったことは、異様な建物だということです。使いづらくてどこに何があるかよく分からない。そのうち慣れましたが、それが最初の印象でした。見えないようにという配慮があるのだと思いますが、真ん中の階段を上がってトイレに入ろうとすると、ぐにゃぐにゃ曲がってどこに連れて行かれるのかといったトイレの入口です。他には、1階のレセプションルームでイベントをやったのですが、音にしてもやはり悪いし、大きな照明の装置があるのですが結婚式場用なので何をさわったらいいのか分かりません。文化的に使おうと思うと結婚式場が顔を出して何かじれったいのです。これが使ってみての感想です。他にはホールが小さすぎます。定員1,200人では何も呼べません。以前、花*花が来た時に見に行ったのですが、はち切れんばかりの人が入っていました。こういうのがまた来ないかなと思うのですが来ないのです。川口リリアとサンシ

	ティにとられてしまうのです。結局、そこまで電車に乗っていかねばいけないのです。なぜ草加で呼べないのか、そんなに人口も変わらないのにというのがじれったさです。例えば、羽田空港は夜の発着ができないからハブ空港になり得ません。そのうち、釜山などがハブ空港になってしまうのです。では、うちもハブにと手を挙げた時には遅かった、要するに競争に負けているのです。別に競争する必要はないのですが、私たちも文化的なものを吸い込みたい、この土地に呼びたい、そう考えるとあの文化会館では無理だと感じます。
【進行】	ありがとうございます。
【登録員D】	私は年間に文化会館を20～30回利用しています。いろんなコンサートがあったり、いろんな会議があつて利用していますが、本当に使いづらいです。車椅子の友達がいいますが、本当に使いづらいです。そして、施設は老朽化しています。今日の会議で話が出ていた身近な公共施設の整備ということは、行政がやって当たり前です。使いづらいところは見直した方がいいです。そして、その地域の人たちも協力して、なおして使いやすくすればいいことです。この草加市を魅力的な街にしていくためには、こんな魅力のない文化会館ではダメです。子どもも障がい者も高齢者も、女性も男性も、そこに行ったら楽しくなるような、そんなすばらしい文化会館をみんなの知恵で作っていきたいと思います。使っていてつくづくそう思います。みんなで一緒に協力して、行政も協力して、いい文化会館ゾーンをみんなでつくっていきましょう。私は日頃利用していてそのように感想として持ちます。
【進行】	ありがとうございます。この場合は、文化会館の建て替えを議決する場ではなくて、議論をしながらいろんな問題を出していく場なので、この話自体はここで一区切りしたいと思います。公共施設のあり方については、皆さんに2回議論をしていただきましたので、今後どうするかということについて話し合いたいと思います。その前に、総合政策課が民間活力の導入について話をしたいということでしたのでお願いします。
【草加市】 (総合政策課岡田課長補佐)	民間活力という話題がでたので、私も専門家ではないですが知っている限りでお答えしますと、PFIという制度があります。金融機関が入って、いろんな企業が出資合って合併会社のようなものを作り、そこで施設を建設したり管理したりする制度です。豊島区役所もそのやり方の1つとして成功していて、埼玉県内でも川越の温水プールの運営にコナミスポーツが入り、スタジオレッスンやプールでの講座を開催してお客さんと呼び、そこからお金を集めてそれを運営にまわし、企業としても利益を出しているという事例があります。制度が出来上がってから14・5年位経つと思います。全国的に成功例も失敗例もあるのですが、民間活力の1つの事例として、市の税金だけではなくて民間からもお金を出し合い、民間の事業所も利益を出して金融機関も融資をしてうまくいくという制度があることを情報としてお伝えしたいと思います。
【登録員J】	柿木町のゴミ焼却場はPFIですか。
【草加市】 (総合政策課岡田)	はい、そうです。プールは草加市が作らなければいけないので検討しています。

課長補佐) 【登録員 J】 【草加市】 (総合政策課岡田 課長補佐) 【進行】	まだ決まってないのですか。 はい。どのような方法でやるかというのは最終的な決定ではありません。ゴミ関係の所管とスポーツ関係の所管で話し合っている段階です。 P F I というやり方もあるというお話しです。公共施設の在り方については今日で2回目の話し合いになりました。次回の会議の進め方について決めていきたいと思います。1つ目は、最初のテーマの時のやり方です。その時は、2回議論をした結果について、私たちからの意見、それから実際に草加市でどうなっているのかということをもとめて資料として作って、市と市民にとっての財産にしていきました。今回も、この2回の会議の中ででてきた意見をみんなでもちづくり会議の登録員の意見としてまとめて、これから市が公共施設を整備していく上での参考にしてもらう資料としていくことで、このテーマは今回で終わりにするのか。2つ目は、更にもう少しテーマを絞って議論を深めていく方がいいのか。その辺りについて、ご意見をお伺いしたいと思います。この会議の進め方の部分ですので、みなさん方のご意見を聞きながら進めていきたいと思います。
【登録員 E】	文化会館と体育館、隣の社会福祉協議会、そして市役所も併せると規模が大きいので、1回や2回でまとまる話ではないと思います。データが全くない状態で語っても、机上の空論でかみ合わないと思います。要するに、予算がない中でどのように建て替えるのかということだと思います。だから、予算とか民間の活力を入れるなどと言っているのですよね。お金をあまりかけずに利便性のいいものを作りたい。そういう趣旨ですよね。これは、集中的に何回も話し合わなければいけないと思います。実際、今の建物はなおしょうがないのなら、建て替えるしかないと思います。あれだけの規模になると莫大なお金がかかるわけですよね。だいたいみんな、文化会館の大ホールへの行き方や体育館の入口が分からず受付に聞きに来ます。階段にはリフトがあるらしいのですが、ほとんど使わずに職員が障がい者の方々を手上げで上げています。いずれにしてもなおしょうがないのなら、新しく建てることとしてみんなでもっと論議を深めていかないと、公共施設でひとくくりにするのはきつい気がします。
【進行】	ありがとうございます。他にはご意見いかがでしょうか。
【登録員 A】	「草加市みんなでもちづくり会議応募テーマ一覧」というのがありますが、テーマ4とテーマ5は議題として話し合いました。それと同じような扱いで、やはりある限度の中でこの場は一端閉じた方がいいと思います。ここは市民会議だからみんなの意見交換の場であって、意見をまとめたりしないという話なので、どうすることもできないと思います。だから、やりたい人はそれぞれ知恵を尽くしてやるように頑張っていけばいいと思います。
【進行】	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。テーマ出題者のご意見ありますか。
【登録員 F】	テーマ5というのは、「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」というテーマですが、中身を読んでいくと、文化会館の改築についてのご意見をいただきたいというこ

	とです。では、なぜ改築しなければいけないのかはここに書いてあるのですが、施設が老朽化すると危険性があるし、コミュニティ棟の3階は県の施設だった時に後から無理矢理作ったのでエレベーターが2階までしかなく、車いすの人や高齢者が使いにくいです。もちろん、耐震性の問題も不安があるし、いつかは建て替えなければいけないと私は考えています。では、こういったところが使いにくいのかについて、図面を持って来て、こういうところがダメだ、どういう理由でなおせないのだと本当は1日かけてみなさんと議論すればいいのですが、そういう時間はありません。だから、先程【登録員H】がおっしゃったように、前提が違うところで話し合っているから噛み合わないというのは確かにその通りです。もちろん文化会館の建て替えがテーマですが、草加市内のあちこちにある施設が使いにくいということも間違いないことだと思います。そういった施設もなおさなければいけないという意見がでているので、今回はこれで1度終わりにして、会議の場で出た意見をカットせずに全部出してもらって、次回は次のテーマに移った方がいいと思います。
【進行】	テーマ出題者から皆さんのご意見を聞いた上での感想がありましたが、前回のテーマと同じように今までの議論の内容をまとめて整理して、その資料を市民の意見としてこの次の会議の場に出して、市にも記録として残していただきたいと思います。よろしいでしょうか。
【登録員】	はい。
【進行】	それでは、この次の会議で何をやるかについてですが、昨年の当初にご応募いただいたみんなでまちづくり会議のテーマは5つあります。既に議論をしたのはテーマ4とテーマ5で、テーマ1・2・3についてはまだ話し合っておりません。今年度はこの会議の場に出席している方が出題したテーマを取り上げてきました。事務局によりますと、テーマ1とテーマ2の提案者は本日欠席で、テーマ3については提案者が分からないと聞いております。もし、この中にテーマ3を提案された方がいらっしゃれば、テーマの趣旨を報告していただきたいと思います。
【登録員G】	テーマ3は匿名だったのですね。
【進行】	はい。この次の会議は4月に予定されていますので、4月の会議で話し合うテーマです。テーマ1・2・3の中のどれかを取り上げる、或いは新たにテーマを募集するかのどちらかになると思います。ただ、提案者がいない中での議論というのは、話し合いをしてもどうかというように私は思います。
【登録員F】	テーマが3つ出ているわけですから、今日この場で決められないのであれば、テーマ1とテーマ2を提案された方に連絡していただいて、それで決めていいと思います。出題者が欠席なので、この場では決められないと思います。
【進行】	では、優先順位をテーマ1とテーマ2のどちらにしたらいいでしょうか。
【登録員F】	順番からいったらテーマ1でいいと思います。

【進行】	では、この順番で、事務局からテーマ提案者に確認していただくことでよろしいですか。
【登録員】	はい。
【進行】	もう1つは会議の進行についてです。今年度第2回の会議から私が進行役を務めさせていただきました。次回の会議で一緒に進行していただける方或いは引き受けてくださる方がいらっしゃればありがたいと思っております。手を挙げていただける方がいればその方と協力をして会議を進めていく、それから私も議論に入らせていただければと思うのですが、いかがでしょうか。 この場で手を挙げるというのは厳しいところもありますので、事務局と相談しながら進めたいと思います。それでは、事務局に進行をお返ししたいと思います。
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございました。本日のご意見につきましては、事務局でしっかりとまとめて、また皆様にお示しさせていただければと思います。また、次年度のテーマと進行につきましても、事務局から確認させていただきまして皆様にご案内をお送りいたします。 本日は総合政策課から説明がありましたが、第4次草加市総合振興計画の冊子ができあがりました。ぜひお持ち帰りいただいて、ご一読いただければと思います。そして、市民活動センターから、2月19日そして3月18日に開催する「協働のひろばの講座」と、3月1日に開催する「まちづくり講座 助成金を活かす！自主財源をつくる！～持続可能な活動計画～」についてのご案内です。ご興味などございましたら、ぜひご参加いただければと思います。 今年度のみんなでまちづくり会議は本日で終わりになります。これから、新年度のスケジュールについてご案内いたします。平成28年度のみんなでまちづくり会議は、4回を予定しております。第1回は4月26日（火）、第2回は7月27日（水）、第3回は10月25日（火）、第4回は1月25日（水）です。4回とも会場は中央公民館で19時からを予定しております。開催日の前には、意見などをまとめたものと併せてご案内の通知をお送りさせていただきます。 これをもって、平成27年度第4回みんなでまちづくり会議を終了いたします。ありがとうございました。

平成27年度第4回みんなでまちづくり会議

次 第

平成28年1月27日（水）午後7時～
草加市立中央公民館 第1・2講座室

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

3. 閉 会

■(みんなでまちづくり会議)・・・草加市みんなでまちづくり自治基本条例より抜粋

第26条 市は、次の事項について市民の参画を実現するため、まちづくり登録員で構成するみんなでまちづくり会議を開催します。

- (1) 前条のまちづくり計画の提案
- (2) パートナースhipによるまちづくりの政策提言
- (3) この条例の運用の監視
- (4) この条例の調査・研究
- (5) その他この条例に基づくまちづくり

2 市は、前項の内容を公表します。

3 市は、みんなでまちづくり会議において提案され、話し合われた事項について、市政に反映するよう努めます。

4 市は、前項の反映結果について公表し、みんなでまちづくり会議で説明をします。

5 みんなでまちづくり会議は、前項の反映結果について納得できない場合は、別に定めるところにより、市議会で意見を述べる機会を求めることができます。

6 市議会は、前項の意思を尊重します。

第3回みんなでまちづくり会議 意見の整理

■テーマ：市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり

■趣 旨：建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市中央公民館」「草加市 体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、まちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたい。

※補足：テーマの幅が広いので、基本的には文化会館ゾーンの再構築という方向で議論。

1. 議論の仕方について

- ・議論の方向性について、既存施設だけをイメージするのではなく、今、市民が望んでいる事は何なのか、どういった事が大切なのかという全体的な事について議論を深め、その上で個別の問題に入るべきではないか。
- ・今日話し合った内容は果たして今の草加市の課題になっているのか。限られた予算の中でどこにお金をかけたらいいいのかという事をもっと精査して、十分考えていくべきである。
- ・全体的な検討がないまま個別の問題を議論して、複合的な施設がいいなどといった意見をまとめているのは全体が見えていないので不安。全体の中でこれをやりますという事をしっかりと議論した上で話し合いたいと思う。

2. 文化会館・体育館について

- ・使い勝手が悪く老朽化が進んでいるので、建て替え以外にはない。
- ・どのように利用するかというソフト面も同時に考えたい。
- ・建て替える時は、健常者だけではなく障がい者や子ども等、全ての施設利用者の意見を聞いて、使い勝手のいい施設を建てて欲しい。
- ・建て替える時は、自立して運営できるような方法を考えて建てて欲しい。
- ・草加は産業の街なので、産業界を取り込んで意見を聞けば、お金を集める方法もまた違ってくるのではないか。
⇒みんなでまちづくり会議にもぜひ産業界の人を呼んで欲しい。
- ・グループで話し合った時に、文化会館を建て替えるのであれば富士製革跡地に商工的な機能を備えた建物や小ホールをつくったらどうかという話があったが、その辺りの現状はどうなっているのか。

◆機能

- ・様々な機能があり、いろんな人が集まれて、できればお金も入ってくるような機能がある施設がいい。
- ・体育館を建て替える時には、いろんな競技の事も考えて欲しい。障がい者スポーツなども盛んになっているので、そういった施設も機能として併設されればいい。
- ・あまりにもさみしいアプローチなので、歩きやすいアプローチにして欲しい。
- ・入口が入りやすい施設にして欲しい。

- ・ワンコイン（有料化）でもいいので、立体か地下の大きな駐車場をつくって欲しい。
- ・文化会館のフリースペースには若い人たちが集まっているので、拡大して欲しい。
- ・市民が上演したり、ライブや市民活動で舞台ができるような小ホールやサブホールをつくって欲しい。
- ・ホールの使い勝手が悪い。⇒子ども達が見やすいようなホールをつくって欲しい。施設内が迷路のようなので、使い勝手がいい施設にして欲しい。
- ・文化会館を建て替える時には、音響等の設備を考えて欲しい。

◆バリアフリー

- ・障がい者のための階段・エレベーター等のバリアフリー設備を考えて欲しい。
- ・バリアフリーになっていて車いすでも使えるトイレやトイレにベンチを設置する等、障がい者の方がチームになり、どのような設備が欲しいか聞いてもらえるといい。
- ・文化会館の3階までのエレベーターやエスカレーターが欲しい。

◆複合化

- ・ゾーンとして考えた時に、体育館・文化施設・会議室などの複合型がいい。
- ・体育館と文化会館をつなぐツインタワーにして、下は庭園ゾーンにするといいのではないかな。それに伴って、冒険あそび場を拡大するといいのではないかな。
- ・予算のことを考えて、高層化をしてマンションなどの複合型にしたらどうか。
- ・子どもが集まる施設、児童館やファミリーサポートセンターと合体し、子どもをあずかってもらいながら演劇や市民活動ができるスペースが欲しい。
- ・子育て支援センターと合体して相談室を設けるといい。

3. 市内の施設について

◆公園・集える場

- ・緑が多い公園や川底が見えるようなきれいな川、緑が多い草加市であって欲しい。
- ・そうか公園規模とは言わないので、身近な所に子ども達がボールで遊べるような公園があるといい。
⇒災害が起きた時の避難所になり、安心・安全・快適につながるのではないかな。
- ・子ども達の居場所や大人が集まれるサロン等、コミュニティセンターも含めてみんなが集える場所があるといい。

◆バリアフリー

- ・高年者や障がい者等、様々な人がいることを考えて、いろんな事をつくって欲しい。
⇒テーマ出題者：いろんな方のニーズを汲み取ることが大切。施設をつくる前に、どういった設備が必要なのかという所から議論を始めてもいいと思う。
- ・障がい者、高年者にやさしい施設をつくって欲しい。
⇒草加市の施設の現状は、高年者や障がい者にやさしくない。古いからで済まらずに、いろいろ変えて欲しい。

◆複合化

- ・体育館や児童館だけではなく、コンビニエンスストアや郵便局、市役所の機能を持つ施設が各地域に欲しい。

- ・児童館や高齢者の集まる施設を複合化し、同じ場所で一緒にふれあえる施設がいい。

◆施設のあり方

- ・ポイントは身近にある事で、せめて中学校区に1つなど、身近な所に人が集まれるような施設がある事が大切。
- ・施設だけあっても仕方がない。そこに人がいないと皆が集まれないのではないかな。
- ・安心して子どもや大人が集まれるように専門家等を配置する事も大事。
- ・車がなくても利用できるような、高齢者に寄り添うような施設を望んでいる。
- ・施設に通えるような循環バスをつくる等、利便性も考えた快適な施設をつくって欲しい。
- ・地域住民にとって優しい施設を望んでいる。
- ・地域にどういった人達がいるのかという歴史的なニーズを考えていかなければいけない。
- ・地域の中心に大きな複合施設が欲しいが、子どもや高齢者が一緒に集まれる場所を身近に欲しい。
- ・空き家や空き店舗の活用ができないか。
- ・施設利用中に具合が悪くなった場合、すぐに行けるような医療のネットワークはあるのか。
⇒施設職員は地域と密に関係をつくっていく必要があるのではないかな。
- ・草加の市役所は新しく引っ越して来た人たちにとって、どこに何の施設があるのか分からず非常に不便なので、便利な施設にして欲しい。

◆その他

- ・施設にもよるが、備品が重いので軽いものにして欲しい。
- ・綾瀬川左岸広場のネーミングをみんなでまちづくり会議で考えてみたらどうか。
- ・公共施設の中で一番危ないのは市役所の本庁舎なので、本庁舎の建て替えが一番だと思う。

《草加市みんなでまちづくり会議 応募テーマ一覧（5件）》

テーマ① 「子どもと大人の人権を大切にするまちづくり」

内 容：すべての人の人権が大切にされ、心地よく暮らせる街になるよう、「当事者」の話を聞き、立場の異なる人に対する共感を持つことを目指して、「人権」の問題を考える機会（フォーラムなど）を開く。単発的なものではなく、繰り返し、機会を重ねていくこと。子どもと大人が共に学び、認識を深めていけるものであること。「草加市子どもと大人の人権条例」のようなものが出来たら嬉しいと思います。

テーマ② 「首都直下型地震時の老人世帯の避難補助体制の構築」

内 容：現在は、地区民生委員が老人世帯のうち要介護者を主体に名簿を管理していますが、とても民生委員一人で25から50人もの老人の避難を援助できません。具体的な法律も条例もありません。どうしますか？

テーマ③ 「人が健康で楽しさ溢れるエアの町 草加」

内 容：子どもも大人も老人も住んで楽しい美しい町をめざす。自転車ロードを作り、体を鍛え、排気ガスの少ない町をめざす。日本で魁エアの町にする。その横には、花を植え、楽しい美しさを入れる。資源や特徴のない町だからこそ、必要である。まず始めに、河川の道を整備し、草加の町を一周できるようにする。老人の楽しみも増え、介護を受ける人も少なくなり、介護医療費を抑える事になる。

テーマ④ 「地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー」

内 容：少子高齢化が喫緊の課題となっています。大所高所の政策・施策は国や県が取り組むべきと考えますが、市民レベルで取り組める課題もあるように思います。それが本会議の目標でもありましょう。そこで、身近な問題として高齢者問題の観点から「地域コミュニティの再生」について考えてみたいと思います。シャッター街商店や空き屋の増加、老人の孤独死など、地域の崩壊が言われています。キーワードを“安全安心して暮らせるまちづくり”として、地域コミュニティ再生のためにはどうすればよいか。退職高齢者の増加（団塊世代）と活躍の場も視野に入れ、議論できればというのが趣旨です。

（※裏面あり）

テーマ⑤ 「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

内 容：建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市中央公民館」「草加市体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。

現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、まちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたいと思う。

みんなでまちづくり会議の運用

みんなでまちづくり会議 の3つの機能

①市民同士の話し合い

議論のテーマを市民が発意し、市民が他の市民と話し合える場として活用できる機能。

同じテーマで活動する団体との情報交換や協力関係を築く場として活用したり、全く別のテーマで活動する団体からの新たな発想や広い視点での意見交換ができる場として活用します。

普段、なかなか接する機会のない市民同士が集まり、意見交換することで、新たな気づきが生まれます。

市民が
集まる場

情報交換
の場

②市からの発信・情報共有

市民からの提案がなくても、出来るだけ定期的な開催が実現できるよう、市が情報を発信したり、市民の意見を聴く場として活用します。特に、市の重要な計画等を策定する場合は、パブリックコメントとは別に、積極的にまちづくりに取り組む市民の意見を聴くことができる機会として活用します。

市の情報
発信の場

市民意見を
聴く場

③提案について考える

提案の前段の相談手法のひとつとして、みんなでまちづくり会議を市民同士の意見交換や協力体制確保の機会として活用し、まちづくりへの市民参加を促進するとともに、提案をより具体性のあるものとなるよう市民同士で提案を考える場としても活用します。

市民への
相談の場

提案を議論
する場

市民同士
の連携

市民活動
の活発化

提案

協働事業

市民自治
の実現

と

パートナー
シップによる
まちづくり

提案できるまちづくり計画の要件

①対等の立場

パートナーシップによるまちづくりの7つの原則に基づくもの
(主体性・対等性・協調性・柔軟性・公開性・普遍性・発展性)

②共通して取り組む目的

市の基本構想及び各分野の基本的な計画に反しないもの

③役割分担

提案者と市の役割分担が設定されているもの
(双方の役割がゼロでないもの)